

平成29年度 大田区立池雪小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

○学校規模……児童数:1,022名・学級数:29学級・教職員数(59名):校長1、副校長2、教員38、講師5、事務1、栄養士1、主事4、カウンセラー2、都区非常勤3
 ○本校の教育目標……○よく考える子ども ○思いやりのある子ども ○がんばる子ども ○じょうぶな子ども (特に○印を重点とし、豊かな心をもち実践力のある子どもを育成する。)
 ○本年度の主な取組……校内研究:教科(国語科) 研究主題「聞く力を高め、進んで表現しようとする児童の育成」→「話す・聞く」ことの指導を通して～年間29回以上の授業実践をおして実施
 ○特色ある教育活動……国際交流(東京工業大学留学生・東京朝鮮第六初級学校) 池雪いきいき応援隊(学校支援地域本部)と連携した教育活動 校内研究と授業観察を関連づけた授業改善

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。 外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成等を図っている。 授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:保護者による学校評価で「学校は、児童の学力の定着・向上のために工夫した分かりやすい授業を行っていますか」の項目で、A・B評価が94%以上である。 3:保護者による学校評価で「学校は、児童の学力の定着・向上のために工夫した分かりやすい授業を行っていますか」の項目で、A・B評価が90%以上である。 2:保護者による学校評価で「学校は、児童の学力の定着・向上のために工夫した分かりやすい授業を行っていますか」の項目で、A・B評価が85%以上である。 1:保護者による学校評価で「学校は、児童の学力の定着・向上のために工夫した分かりやすい授業を行っていますか」の項目で、A・B評価が85%未満である。	4	○日々の授業の充実、算数少人数と算数補習教室の充実、学習カルテの活用などを通して、基礎学力の定着や思考力・判断力・表現力の育成に努めた結果、保護者からの評価が94.5%と昨年度より1%向上した。今後も、OJTや校内研究を日常の授業改善に活かしていく。	○とても丁寧な対応をしていただいていると思います。
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4:保護者による学校評価で「おさんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思いますか。」の項目で、4段階B以上が85%以上である。 3:保護者による学校評価で「おさんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思いますか。」の項目で、4段階B以上が75%以上である。 2:保護者による学校評価で「おさんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思いますか。」の項目で、4段階B以上が65%以上である。 1:保護者による学校評価で「おさんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思いますか。」の項目で、4段階B以上が65%未満である。	4	○メンタルヘルスチェック結果の活用やいじめ対策の推進などを通して、「友達と仲良く遊んだり勉強したりして楽しく学校生活を送っている。」と肯定的な保護者が96%と目標値の11%を上回った。今後も、学校のきまりの重点化と定着、道徳教育の充実を図り、自己肯定感の育成に努めていく。	
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。 「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:保護者による学校評価で「学校は、体育や保健指導等の実施をとおして、おさんの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいると思いますか。」の項目で、4段階B以上が75%以上である。 3:保護者による学校評価で「学校は、体育や保健指導等の実施をとおして、おさんの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいると思いますか。」の項目で、4段階B以上が70%以上である。 2:保護者による学校評価で「学校は、体育や保健指導等の実施をとおして、おさんの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいると思いますか。」の項目で、4段階B以上が65%以上である。 1:保護者による学校評価で「学校は、体育や保健指導等の実施をとおして、おさんの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいると思いますか。」の項目で、4段階B以上が65%未満である。	4	○体力調査結果から、学校の合計点は全ての学年で平均を上回った。しかし、「立ち幅跳び」「20mシャトルラン」が平均に達していない学年が多かった。このことから、「縄跳び運動」を一校一取組とし、学校全体で取り組んでいる。一学級一取組としても各学級の実態に応じて外遊びを推奨したり授業改善を図ったりと取り組みを行っている。	○学校を挙げて様々な場面で取り組みは評価できる。
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。 校内研究会の研究授業の事前・事後授業、公開授業等を推進する。	4:教員による学校評価で「校内研究の事前・事後授業、ICT機器を活用等とおして授業改善を行った」と回答した教員が85%以上である。 3:教員による学校評価で「校内研究の事前・事後授業、ICT機器を活用等とおして授業改善を行った」と回答した教員が75%以上である。 2:教員による学校評価で「校内研究の事前・事後授業、ICT機器を活用等とおして授業改善を行った」と回答した教員が65%以上である。 1:教員による学校評価で「校内研究の事前・事後授業、ICT機器を活用等とおして授業改善を行った」と回答した教員が65%未満である。	4	○ICT機器の各教室完備により全ての学級でICT機器を活用した授業ができた。また、校内OJTが計画的に行われ、指導力の向上に努めた。	○学校公開での授業で教科書を大写しにしていたり、動画を映したり活用されているところを拝見した。更に、活用されることが期待できる。
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりまします。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。 地域の人材を活用し、キャリア教育を推進する。	4:保護者による学校評価で「学校は家庭や地域とのかかわりを深める教育活動に取り組んでいますか」の項目で、A・B評価が86%以上である。 3:保護者による学校評価で「学校は家庭や地域とのかかわりを深める教育活動に取り組んでいますか」の項目で、A・B評価が80%以上である。 2:保護者による学校評価で「学校は家庭や地域とのかかわりを深める教育活動に取り組んでいますか」の項目で、A・B評価が75%以上である。 1:保護者による学校評価で「学校は家庭や地域とのかかわりを深める教育活動に取り組んでいますか」の項目で、A・B評価が75%未満である。	4	○学校支援地域本部との連携を図り、児童へのサポートや特色ある教育活動の展開ができた。また、地域の人材を活用し、10名の講師を招聘し、6年生へのキャリア教育を実施した。	○日頃から地域との連携ができていますと感じる。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。